

リベラル鈴鹿 市川 哲夫 議員



- 1 東日本大震災後の鈴鹿市の対応
 - (1) 被災地への支援体制
 - (2) がれき処理について
 - (3) エネルギーピークカット問題
 - (4) 防災計画

質問1(1) 支援体制について人的・物質的にどのようにしてきたのか。また今後どのような支援を考えているのか。

答弁1(1) 被災地へ職員の派遣、義援金の受付またボランティア団体の被災地での炊き出し或いは一般家庭でのホームステイ受入等本市独自の支援事業も行ってきた。尚、今後についても支援活動を続けていく所存。

質問1(2) がれき処理問題について今後、市としてど

う対応していくのか。

答弁1(2) 三重県市長会で災害廃棄物の広域処理への対応に係る合意書に基づき安全性、処理体制住民不安の払拭、議会の理解等広域処理への環境整備の解決で可能な限り協力。皆様のご理解頂きたい。

質問1(3) エネルギーピークカット問題について。

答弁1(3) 市内公共施設で取り組みをしている。

質問1(4) 防災計画について

答弁1(4) 国や県の動向を見極めながら風水害対策編や震災対策編の他に津波対策編を加え強化を図る。



被災地のがれき状況

市民クラブ 中村 浩 議員



- 1 防災行政無線についてパート3
- 2 文化財について

質問1 議決後の工程について。工事の施工後、音声の伝達が不十分な地域への対応をどうするか。

答弁1 4月25日に日本無線(株)三重営業所と仮契約を締結し、工期は25年3月10日までである。年度内に工事を完了させるため、機器の製作と並行して現地施工を進める。9月に現地調査後、10月から鋼管柱設置開始、来年2月には拡声放送のテスト稼働を行い、3月上旬には完成予定で、下旬に供用開始。このシステムは、既存の「移動系防災行政無線」を拡充して、「同報

系防災行政無線」の整備を行うものであり、屋外拡声子局が市内90箇所に設置されることになるが、伝達不十分な地域においては、鈴鹿ヴォイスFM、ケーブルテレビ、メルモニ等様々な媒体を活用いただきたい。

質問2 長太の天王祭の文化財指定を要望しているが、どう対応していくのか。

答弁2 平成23年7月30日に文化財調査会委員と職員が視察を行い、地元の方々とも情報交換をしてお意見いただき、平成24年2月に開催された文化財調査会で審議されたが、いくつか確認事項もあり継続調査中である。

すずか倶楽部 鈴木 純 議員



- 1 鈴鹿亀山道路の整備促進について
- 2 新名神鈴鹿PAの活用について

質問1(1) 交通渋滞の緩和、物流輸送の迅速化、観光振興や災害時の緊急輸送路としての観点から早急な整備を要望したい。

答弁1(1) 地域に有効な鈴鹿亀山道路の実現に事業主体の三重県と連携し積極的に取り組んでいく。

質問1(2) 現行案は北勢バイパスを起点とする北側ルートだが、メリットのあるルートを再検討すべき。

答弁1(2) 道路を取り巻く情勢も変動しており県や亀山市と北側、中央、南側の3ルートで再検討していく。

質問1(3) 今後の整備促進の具体的な取り組みは。

答弁1(3) 商工会議所、民間団体と連携して、広報を始め市民向けイベント、意見交換会など計画していきたい。

質問2(1) 平成30年度開設予定の鈴鹿PAで、市のスペース確保をネクスコ中日本へ断ったのは事実か。

答弁2(1) 具体的条件が示されなかった事、新東名で自治体の直営出店がなく、スペース確保を見合わせた。

質問2(2) 前例がないからやらないのなら、先駆的な事業はできない。鈴鹿産品販売・PRの取り組みは。

答弁2(2) 観光情報、物産情報、ものづくり産業に関する情報発信等について商工会議所など市内各団体、三重県などと連携しつつ、ネクスコに協力要請していく。